

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年10月27日

上場取引所 大

上場会社名 クルーズ株式会社

コード番号 2138 URL <http://crooz.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小淵 宏二

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理担当執行役員

(氏名) 櫻井 英哉

TEL 03(5786)7080

四半期報告書提出予定日 平成22年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	2,310	—	471	—	470	—	268	—
22年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	9,794.81	8,594.10
22年3月期第2四半期	—	—

(注) 平成22年3月期第2四半期は、連結業績のみを公表しておりましたので、上記において経営成績は記載していません。尚、平成22年3月期第2四半期の非連結ベースの業績は以下の通りです。

(参考) 平成22年3月期第2四半期業績(累計) ※()は、今期2四半期の前期2四半期に対する増収および増益率です。
売上高: 1,796百万円(28.7%)、営業利益: 236百万円(99.8%)、経常利益: 258百万円(81.9%)
当期純利益: △104百万円(-%)

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	1,757	1,035	58.7	37,632.20
22年3月期	1,546	827	53.4	30,087.39

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 1,032百万円 22年3月期 825百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	2,250.00	2,250.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	2,270.00	2,270.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

(参考) 当社は、平成22年10月1日付けで、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しておりますので、今期の配当予想につきましては、分割後の株式数を基にして算出しております。

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,900	34.2	1,100	154.1	1,090	145.9	630	—	11,484.20

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

(参考) 当社は、平成22年10月1日付けで、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しておりますので、業績予想の1株あたり当期純利益につきましては、分割後の株式数を基にして算出しております。

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 27,429株 22年3月期 27,429株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 一株 22年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 27,429株 22年3月期2Q 27,408株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1)当社は、平成22年10月1日付けで、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しておりますので、配当の状況における平成23年3月期(予想)の1株あたり配当金および、平成23年3月期の業績予想における1株あたり当期純利益につきましては、分割後の株式数を基にして算出しております。

(2)上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報.....	3
2. その他の情報.....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	3
3. 四半期財務諸表.....	4
(1) 四半期貸借対照表.....	4
(2) 四半期損益計算書.....	5
【第2四半期累計期間】	
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書.....	6
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	7
「参考」.....	8
(1) 【四半期連結損益計算書】.....	8
【第2四半期連結累計期間】	
(2) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】.....	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期のモバイルビジネスを取り巻く環境につきましては、平成22年9月30日現在における携帯電話の累計契約台数が11,540万台、そのうち第3世代携帯電話端末の台数は11,344万台(前年同期比8.5%増)(注1)となっており、全体の98%を占めるに至っております。また、モバイルコンテンツ市場とモバイルコマース市場をあわせたモバイルコンテンツ関連市場は平成21年(1月～12月)に1兆5,206億円(前年同期比12.4%増)(注2)となり依然としてマーケットが拡大していることに加え、モバゲータウンを始めとするソーシャルゲームプラットフォーム上で楽しむソーシャルゲームの利用が、性別、世代を問わず急増しており、新たなモバイルゲーム市場としての拡大が本格化しつつあります。

当社におきましては、当第1四半期よりモバゲータウンにて新規参入したソーシャルゲームが見込みを上回り好調に推移いたしました。平成22年9月末時点の会員数は、第1弾「熱血硬派くにおバトル」、第2弾「レースバトルだ!くにおくん」あわせて、240万人を突破し、モバゲー内で上位にランクされる人気ゲームに成長いたしました。また、資本効率が高く成長性の高いコンテンツに経営資源を集中した結果、ミニゲームサイト「プチゲームDX」が堅調に売上高・利益を伸ばしました。これは、資本効率の最大化、売上高の最大化、営業利益の最大化を目的としたコンテンツの育成・撤退ルール「4Cプログラム」に則り、選択と集中戦略と焦点絞込戦略を実践した成果であり、当社の重要施策として今後も引き続き強力で推進してまいります。このような事業活動の結果、第2四半期における売上高は2,310,988千円(前年同四半期比28.7%増収)、営業利益は471,526千円(前年同四半期比99.8%増益)、経常利益は470,391千円(前年同四半期比81.9%増益)、四半期純利益は268,661千円(前年同四半期比-%)となり、第1四半期に続き過去最高益を更新しました。尚、上記は非連結ベースでの比較となっております。

(注1) 社団法人電気通信事業者協会の調査に拠っております。

(注2) モバイル・コンテンツ・フォーラムの調査に拠っております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第2四半期末における総資産は、売上増加に伴う売掛金の増加、サーバー増強に伴う固定資産の取得などにより1,757,333千円となり、前事業年度末に比べ211,237千円の増加となりました。

(負債)

当第1四半期末における負債は、課税所得の増加に伴う未払法人税の増加および借入金の返済などにより722,185千円となり、前事業年度末に比べ3,560千円の増加となりました。

(純資産)

当第2四半期末における純資産は、繰越利益剰余金の増加などにより1,035,148千円となり、前事業年度末に比べ、207,677千円の増加となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期末における現金及び現金同等物は、678,517千円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、301,771千円となりました。主な要因は、税引前四半期純利益が465,094千円となりましたが、売上債権が158,152千円増加したことによるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、48,996千円となりました。主な要因は、サーバー等有形固定資産の取得による支出40,883千円によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、232,184千円となりました。主な要因は、配当金支払による支出61,715千円、長期借入金の返済による支出171,200千円によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年10月27日に開示いたしました、「平成23年3月期業績予想の上方修正に関するお知らせ」でも公表しましたとおり、平成23年3月期の通期業績は、前期実績に比べ、売上で34.2%増、営業利益で154.1%増、経常利益で145.9%増と、それぞれ増収増益し、2期連続で最高益を大幅に更新する見通しです。

これは、平成22年4月20日より開始した、「熱血硬派くにおバトル」を始めとするソーシャルゲームが、平成22年8月2日に発表した業績の上方修正以降も、見込みを上回り好調に推移しており、直近の状況を加味し通期業績予想を見直した結果、改めて上方修正が必要と判断したためです。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当ありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これに伴い、当第2四半期の営業利益、経常利益は、適用前に比べて1,564千円減少し、税引前四半期純利益は3,651千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による敷金の変動額は3,651千円であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	678,517	657,927
売掛金	756,900	598,748
その他	50,796	26,885
貸倒引当金	△4,715	△5,921
流動資産合計	1,481,499	1,277,640
固定資産		
有形固定資産	77,787	31,336
無形固定資産	51,731	72,216
投資その他の資産	146,315	164,904
固定資産合計	275,834	268,456
資産合計	1,757,333	1,546,096
負債の部		
流動負債		
買掛金	202,092	165,071
1年内返済予定の長期借入金	—	57,600
未払金	280,782	311,310
未払法人税等	190,586	12,904
その他	48,724	58,140
流動負債合計	722,185	605,025
固定負債		
長期借入金	—	113,600
固定負債合計	—	113,600
負債合計	722,185	718,625
純資産の部		
株主資本		
資本金	320,372	320,372
資本剰余金	310,372	310,372
利益剰余金	401,468	194,521
株主資本合計	1,032,213	825,266
新株予約権	2,934	2,204
純資産合計	1,035,148	827,470
負債純資産合計	1,757,333	1,546,096

(2) 四半期損益計算書
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	2,310,988
売上原価	874,127
売上総利益	1,436,861
販売費及び一般管理費	965,335
営業利益	471,526
営業外収益	
受取利息	154
その他	819
営業外収益合計	973
営業外費用	
支払利息	1,417
リース解約損	687
その他	3
営業外費用合計	2,108
経常利益	470,391
特別損失	
減損損失	3,210
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,086
特別損失合計	5,297
税引前四半期純利益	465,094
法人税、住民税及び事業税	186,725
法人税等調整額	9,707
法人税等合計	196,432
四半期純利益	268,661

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	465,094
減価償却費	28,970
減損損失	3,210
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,206
支払利息	1,417
受取利息	△154
リース解約損	687
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,086
売上債権の増減額(△は増加)	△158,152
仕入債務の増減額(△は減少)	37,021
未払金の増減額(△は減少)	△47,396
その他の資産の増減額(△は増加)	△9,647
その他の負債の増減額(△は減少)	△3,341
小計	318,589
利息の支払額	△1,167
利息の受取額	154
法人税等の支払額	△10,162
その他の支出	△5,642
営業活動によるキャッシュ・フロー	301,771
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△40,883
投資有価証券の取得による支出	△2,100
無形固定資産の取得による支出	△395
保険積立金の積立による支出	△5,618
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,996
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△171,200
配当金の支払額	△61,715
新株予約権の発行による収入	730
財務活動によるキャッシュ・フロー	△232,184
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	20,590
現金及び現金同等物の期首残高	657,927
現金及び現金同等物の四半期末残高	678,517

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

該当事項はありません。

「参考」

(1) 【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	1,929,049
売上原価	799,921
売上総利益	1,129,128
販売費及び一般管理費	885,751
営業利益	243,376
営業外収益	
受取利息	343
保険解約返戻金	24,748
その他	136
営業外収益合計	25,228
営業外費用	
支払利息	4,867
株式交付費	0
その他	813
営業外費用合計	5,681
経常利益	262,924
特別損失	
固定資産除却損	319,919
減損損失	107,736
関係会社株式売却損	11,357
事務所移転費用	18,710
特別損失合計	457,724
税金等調整前四半期純損失(△)	△194,800
法人税、住民税及び事業税	1,082
法人税等調整額	△74,172
法人税等合計	△73,090
四半期純損失(△)	△121,710

(2) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△194,800
減価償却費	98,001
減損損失	107,736
貸倒引当金の増減額(△は減少)	625
受取利息及び受取配当金	△343
支払利息	4,867
関係会社株式売却損益(△は益)	11,357
株式交付費	0
固定資産除却損	319,919
事務所移転費用	18,710
売上債権の増減額(△は増加)	34,879
たな卸資産の増減額(△は増加)	5,315
仕入債務の増減額(△は減少)	△270,312
未収消費税等の増減額(△は増加)	2,339
未払消費税等の増減額(△は減少)	14,479
その他の資産の増減額(△は増加)	5,574
その他の負債の増減額(△は減少)	△7,314
小計	151,036
利息及び配当金の受取額	312
利息の支払額	△4,666
法人税等の支払額	△15,388
営業活動によるキャッシュ・フロー	131,294
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△150
無形固定資産の取得による支出	△161,228
敷金及び保証金の差入による支出	△79,212
敷金及び保証金の回収による収入	59,248
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△28,116
投資活動によるキャッシュ・フロー	△209,458
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△200,000
株式の発行による収入	174
配当金の支払額	△24,663
新株予約権の発行による収入	2,204
財務活動によるキャッシュ・フロー	△222,284
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△300,448
現金及び現金同等物の期首残高	1,021,022
現金及び現金同等物の四半期末残高	720,574